

山本のぶあき後援会だより

ステップアップ・奈良!!

—大好きな奈良を元気にしよう—

2017年秋第61号



平成29年9月県議会・代表質問をさせていただきました (9/19)

質問・答弁詳細は山本のぶあきホームページでご覧いただけます <https://y4905.jp/>

1 公平公正な税務行政の推進について

税務行政については、納税者の意識も時代とともに変化し、より厳しくなっているように思うが県として公平公正な税務行政を推進するため、県民に対して納税意欲を向上させる取組をどのように進めているのか。

また、滞納となった場合、どのように税の徴収を行っているのか。

答：【知事】

引き続き、納期限内に納税いただけるよう啓発等に取り組むとともに、滞納に対しては、毅然とした対応で挑み、信頼される税務行政を推進していきたいと考えている。

2 奈良モデルの推進について

今後、各種行政課題に対応していくためにも、更なる連携・協働の取組が市町村において加速化していくと考えるが、県では、「奈良モデル」について、これまでの成果を踏まえ、今後どのように進めて行こうとしているのか、知事の所見を伺いたい。

答：【知事】

今後とも、自立心を持って創意工夫し、がんばる市町村を下支えするため、市町村の支援や市町村間の連携への調整を行うとともに、市町村の独自のアイデアを尊重しつつ、各市町村への情報提供や普及・推進のための支援を行うなど、国と市町村との間に立つ役割を果たしてまいりたいと考えている。

3 少子化対策の強化について

少子化を改善するためには、結婚や子育てに関する希望の実現を阻んでいる要因を一つ一つ取り除いていく対策を講じていくことが必要であると考えているが、県では、現在、どのように少子化対策を強化しているのか。

答：【知事】

結婚応援活動や、「地域の子育て力」を強化させるなどの取組を進めることにより、本県の若者の結婚や子育ての意識を高め、おせっかい県庁に多少でも近づくよう努力し、少子化の改善につながるよう努める。

4 民泊サービスの推進について

民泊サービスは、良好な住環境の悪化を招く恐れがあるものの、一方で宿泊施設数の増加に繋がる可能性が大いにあると期待している。今後、「住宅宿泊事業法」の制定を受けて、県では、民泊サービスの推進にどのように取り組んで行くのか、知事の考えを伺いたい。



答：【知事】

県の責任に係る条例の制定については、住環境の保全と観光客の多様なニーズの調和を図るよう本県の地域特性とともに県条例対象の市町村の意向も踏まえ、12月議会の上程と3月施行を目標に検討していく。

5 スポーツに親しめる環境づくりについて

東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、全国的にスポーツに関する関心が高まりつつある中、県においても今年度、スポーツ推進計画の見直しに取り組んでいるが、ソフト・ハードの両面から、多くの県民がスポーツに親しめる環境づくりをより一層進めるべきと考える。このことについて、知事の所見を伺いたい。

答：【知事】

今年度の「奈良県スポーツ推進計画」見直しの中で、中長期的な視点でスポーツ施設の整備・運営計画を策定したいと考えている。

6. 県でのテレワーク導入について

県庁におけるテレワークの試行はどのような状況か。また、今後のテレワーク導入に対してどのように考えているのか。

答：【知事】

今後は、取組による効果をさらに検証しサテライトオフィスの拠点の拡大やモバイル端末の増設を検討したい。職員にもテレワークのメリットを周知して、さらなる利用拡大につながるよう、図ってまいりたい。



6. 京奈和自動車道御所南インターチェンジから五條北インターチェンジ間の供用開始に伴う交通安全対策について

京奈和自動車道御所南インターチェンジから五條北インターチェンジ間の供用開始から、ちょうど本日で1ヶ月を迎えるが、開通にあたり、県警察において事故防止のため、どのような対策を取られたのか。

また、これまでの開通区間における交通事故の発生状況、及びそれを踏まえて今後どのような対策を取ろうとしているのか、あわせて伺いたい。

答：【警察本部長】

今後も、引き続き道路管理者との連携を密にし、交通事故の発生実態や交通渋滞状況に即した、必要な道路改良や交通安全施設の整備を働きかけるとともに、パトロールの強化や広報啓発活動等を行い、交通事故の抑止に努めてまいりたいと考えている。

